



# 表紙写真の説明

## 武将供養祭(国枝為助公)

国枝氏は15世紀後半以降池田の本郷一帯を本拠としていた豪族で、太郎ヶ城の築城、龍徳寺の再興、本郷城の改修及び、城下整備、市場の奨励など、地域の発展に寄与してきた。この武将供養祭は、みの池田ふるさと祭の初陣をかざる行事です。

## 池田町無形文化財

### 般若おどり

池田町般若畑地内に伝わる雨乞い踊りである。踊り子は、胸に直径50cm余の太鼓を抱き、背中には2mあまりのシナイを背負って太鼓と共に、笛や鐘、法螺貝に合わせて踊るものです。写真は、みの池田ふるさと祭の前夜祭として実施される「明和義民供養祭」に奉納されたときのものです。

## 追悼

### 急逝 久保田重男 議員



平成16年3月初当選され、町発展に意欲を燃し健闘されておりました。平成18年4月より議会広報編集委員長に就任され、元気に活躍されておりましたが、8月4日急逝され、残念至極であります。茲に議員一同、心からご冥福をお祈り申し上げ哀悼の誠を捧げます。

## 編集後記

記録的な炎暑、極暑もようやく過ぎ去り、秋本番の好季節を迎えた。52歳の若き首相「安倍晋三」内閣も誕生し、前途洋々とした船出を思わせた。しかし、その途端、日本では、秋の連休を襲った台風を超える低気圧による「強風・荒波・吹雪」で、死者13名、行方不明者28名の被害者が出た。被災者の方々には謹んでお悔み申し上げます。また、国外においては、10

月9日、北朝鮮が発表した「核実験を実施し成功した。」との報道に、世界中が驚愕し様々な反応を示した。友好国であるロシア、中国までが、一線を越えた北朝鮮に対して「無条件の批難」という言葉で批判した。北朝鮮は益々孤立化の道を選択した。その理由は何か？ 訪中、訪韓中の出来事に安倍内閣は、どの様な対応をされるか国民は注視している。安倍首相の真骨頂を期待する。